

●今川 嘉文（いまがわ よしふみ）

大阪府立大学 経済学部 助教授

1962年生まれ。神戸大学大学院法学研究科後期博士課程中退。大阪府立大学助手、大阪府立大学講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「相場操縦規制の研究」（『大阪府立大学経済研究叢書』第92冊、2000年）、「相場操縦の認定要素と行為者の責任」（大阪証券取引所『インベストメント』52巻5号、1999年10月）、「過当取引の違法性と認定要素」（大阪証券取引所『インベストメント』52巻1号、1999年2月）、「使途秘匿金に関する株主の対応」（『大阪府立大学経済研究』43巻1号、1997年12月）

●閻 和平（えん わへい）

大阪商業大学 経済学部 助教授

1962年生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程修了、経済学博士（京都大学）。大阪商業大学商経学部専任講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「比較企業経営分析 ロシアと中国」（共著：創成社、1996年）、「最新グローバル経済の透視図」（共著：創成社、1995年）

●松田 友義（まつだ ともよし）

千葉大学大学院 自然科学研究科 助教授

1949年生まれ。北海道大学大学院農学研究科単位取得退学。千葉大学園芸学部助手、講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「農業情報の理論と実際－経済学からのアプローチ」（共著：農林統計協会、1996年）、「農協経営の計量分析」（共著：農林統計協会、1997年）、「生産者・生産者団体の価格リスクに対する対応」（新農政研究所『商品先物取引研究－野菜指数化商品へのアプローチ』、1995年）、他多数。

●栗原 伸一（くりはら しんいち）

千葉大学大学院 自然科学研究科 生命資源科学専攻生物資源学講座 助手

1966年生まれ。東京農工大学連合大学院博士課程修了。鰯淵学園講師、千葉大学助手（園芸学部）を経て現職。

<主な著書・論文>

「多属性効用分析による農業・農村地域開発の政策評価」(『農業経済研究』第67巻4号、pp.210～217、1996年)、「農村計画の重点化手法」(共著：『農村計画学会誌』第15巻2号、pp.61～66、1996年)、「認定農業者のための効率的支援活動プログラムの策定－コンジョイント分析による選好把握とその適応－」(『農業経営研究』第36巻2号、pp.35～44、1998年)、「商品先物取引の受容態度に関する研究－タマネギ生産者に対する意識調査を通して－」(共著：『農業経営研究』第37巻2号、pp.1～10、1999年)、「学校給食における食品安全性の評価」(共著：『フードシステム研究』第6巻1号、pp.57～68、1999年)

●丸山 敦史(まるやま あつし)

千葉大学園芸学部 助手

1972年生まれ。千葉大学大学院園芸学研究科修了。長野県経済事業農業協同組合連合会を経て現職。

<主な著書・論文>

“1996 O157 Outbreak and the Introduction of HACCP in Japan : A Preliminary Analysis of Kaiware Production and School Lunch System.”, *In the economics of HACCP*, edited by L. J. Unnevehr. 315-334, Minnesota, USA : Eagan press, 2000.

●出村 克彦(でむら かつひこ)

北海道大学大学院 農学研究科 教授

1945年生まれ。北海道大学大学院博士課程修了、農学博士。帯広畜産大学助手、同大学助教授、北海道大学農学部助教授、同大学教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「農村アメニティの創造に向けて－農業・農村の公益的機能評価－」(共編著：大明堂、1999年)、「農業と環境問題」(共著：農林統計協会、1999年)、「農業経済学への招待」(共編著：日本経済評論社、1999年)

●阿部 秀明(あべ ひであき)

北海学園北見大学 商学部 教授

1956年生まれ。北海道大学大学院環境科学研究科博士後期課程修了(学術博士)。

<主な著書・論文>

「持続可能な農業と環境保全へのアプローチ」(米内山昭和・阿部秀明 共編：泉文堂、1999年6月)、「持続可能な観光と地域発展へのアプローチ」(共著：泉文堂、1999年)、「世界食料需給モデルによる与件変動分析」(『北見大学論集』第22巻第2号、2000年)

●伊藤 昭男 (いとう あきお)

北海学園北見大学 商学部 助教授

1957年生まれ。北海道大学大学院環境科学研究科博士課程修了。北海学園北見大学商学部講師を経て現職。

<主な著書・論文>

“Toward the Construction of A Hokkaido Agricultural Computable General Equilibrium Model” (共著：北海学園北見大学開発政策研究所『開発政策研究』Vol.1、1999年)、“A Study of Evolutional Process of Regional Industrial Structure : Critical Consideration from Macro & Meso/Micro Approaches” (共著：『北見大学論集』第39号、1998年)、「酪農乳製品の産業構造に関する国際比較－国際産業連関表による日米欧比較分析－」(共著：『農業経済研究』第66巻第4号、1995年)。

●津田 治 (つだ おさむ)

稚内北星学園大学 情報メディア学部 教授

1957年生まれ。北海道大学大学院環境科学研究科博士課程。稚内北星学園短期大学助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「農産物先物市場の変動特性と現物価格の関連について」(共著：『稚内北星学園短期大学紀要』第7・8号、1995年)、「有料化によるごみ減量化効果の計測」(共著：『環境情報科学論文集』No.11、1997年)。

●笹木 潤 (ささき じゅん)

日本学術振興会特別研究員

1970年生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。

<主な著書・論文>

「東穀大豆先物価格の形成－CBOT大豆先物価格との共和分分析－」(共著：『フードシステム研究』第6巻1号、1999年)、「東穀米国産大豆先物価格とCBOT大豆先物価格の共和分分析」(共著：『1997年度日本農業経済学会論文集(農業経済研究別冊)』、1997年)

●駒木 泰 (こまき とおる)

札幌大学 経済学部 教授

1958年生まれ。北海道大学農学部卒業。

<主な著書・論文>

「農業構造の計量分析」(共著：富民協会)、「計画生産下における生乳供給－北海道と都府県の価格弾力性の計測より－」(共著：『1997年度日本農業経済学会論文集(農業経

済研究別冊)』、1997年)

●加藤 峰夫 (かとう みねお)

横浜国立大学 経済学部 教授

1958年生まれ。北海道大学法学部法学科卒業。北海道大学大学院環境科学研究科博士課程修了(学術博士)。カナダ、ブリティッシュ・コロンビア大学林学部留学(カナダ政府奨学生)後、横浜国立大学経済学部経済法学科助教授を経て現職(環境法)。

<主な著書・論文>

「環境法」(阿部泰隆・淡路剛久編、分担執筆：有斐閣、1995年7月(第2版：1998年9月)、「地球温暖化の経済・政策学－IPCC第3作業部会報告」(天野明弘、西岡秀三監訳、中央法規出版、1997年)、「国連気候変動枠組条約・議定書についての考え方」(共著：国際比較環境法センター・ワーキンググループ、岩波書店『環境と公害』27巻2号、p.43～50、1997年10月)、「温暖化防止対策法のありかた－総合的かつ効果的な国内の温暖化対策の実施のために－」(共著：国際比較環境法センター・ワーキンググループ、岩波書店『環境と公害』28巻1号、p.23～30、1998年7月)

●倉沢 資成 (くらさわ もとなり)

横浜国立大学 経済学部 教授

1946年生まれ。早稲田大学理工学部数学科卒業。早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了(経済学修士)。国民経済研究協会研究員、横浜国立大学経済学部講師、助教授を経て現職(経済理論)。

<主な著書・論文>

「マクロ経済学」(共著：新世社、1993年)、「構造変化と企業行動」(共著編：日本評論社、1995年)。

●渡部 敏明 (わたなべ としあき)

東京都立大学 経済学部 助教授

1963年生まれ。米国イェール大学大学院経済学研究科修了(経済学Ph.D.取得)。東京都立大学経済学部講師を経て現職。英国ケンブリッジ大学政治経済学部客員研究員兼任。

<主な著書・論文>

「ボラティリティ変動モデル」(朝倉書店、2000年)、「ボラティリティ変動モデルの発展と株式収益率データへの応用」(『現代ファイナンス』No.3、pp.15-41、1998年)、“A Non-linear Filtering Approach to Stochastic Volatility Models with an Application to Daily Stock Returns”, *Journal of Applied Econometrics*, 14, pp.102-121, 1999、“Bayesian Analysis of Dynamic Bivariate Mixture Models: Can They Explain the Behavior of Returns and Trading Volume?”. *Journal of Business &*

Economic Statistics, 18, pp.199-210, 2000、“Excess Kurtosis of Conditional Distribution for Daily Stock Returns : The Case of Japan”, *Applied Economics Letters*, 7, pp.353-355, 2000.

●大森 裕浩（おおもり やすひろ）

東京都立大学 経済学部 助教授

1961年生まれ。米国ウィスコンシン大学大学院統計学研究科修了（統計学Ph.D.取得）。米国オハイオ州立大学コロンバス校統計学部講師、千葉大学法経学部専任講師、助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

“The Influence of Random Effects on the Unconditional Hazard Rate and Survival Functions”, Omori, Y. and Johnson, R. A., *Biometrika*, 80, pp.910-914, 1993、「マルコフ連鎖モンテカルロ法」（『千葉大学経済研究』第10巻第4号、pp.237-287、1996年），“The Influence of Random Effects on Bivariate and Trivariate Survival Models”, Johnson, R. A. and Omori, Y., *Journal of Nonparametric Statistics*, 11, pp.137-159, 1999、“Some Consequences of Random Effects in Multivariate Survival Models”, Omori, Y. and Johnson, R. A., *Multivariate Analysis, Design of Experiments and Survey Sampling*, edited by S. Ghosh, New York : Marcel Dekker, pp.301-347, 1999.

●前田 雅弘（まえだ まさひろ）

京都大学大学院 法学研究科 教授

1958年生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院博士課程単位取得。京都大学法学部助教授、京都大学大学院法学研究科助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「会社法1、2」（共著：第2版、有斐閣、2000年）、「証券投資法人制度」（日本証券経済研究所『金融システム改革と証券取引制度』、2000年）、「自己株式取得とインサイダー取引規制」（『法学論叢』140巻5・6号、1997年）

●中谷 朋昭（なかたに ともあき）

帯広畜産大学 畜産学部 助手

1969年生まれ。北海道大学大学院農学研究科修士課程修了、農学博士。帯広畜産大学畜産学部畜産資源経済学講座助手を経て現職。

<主な著書・論文>

「農産物における最適ヘッジ取引率の推計—小豆先物市場を対象にして—」（『農業経営研究』第36巻第1号、pp.147-152、1998年）、「商品先物価格変化の季節変動パター

ン」(『1997年度日本農業経済学会論文集(農業経済研究別冊)』pp.220-222、1997年)、
「米国産大豆先物市場におけるボラティリティ変動の計量分析」(『北海道農業経済研
究』第9巻第1号(印刷中)、2000年)

●細川 允史(ほそかわ まさし)

酪農学園大学 酪農学部 食品流通学科 教授

1943年生まれ。東京大学農学部農業生物学科卒業。東京都中央卸売市場大田市場業務課
長、東京都中央卸売市場監理課長、東京都農業試験場長を経て現職。

<主な著書・論文>

「変貌する青果物卸売市場」(筑波書房、1993年12月)、「長野県川上農協の事例」(共
著：農林水産省監修・全国農業協同組合連合会・全国農業協同組合中央会編『環境保全
型農業の流通と販売』、家の光協会、1995年7月)、「生鮮食料品流通の今日的課題」(共
著：国民生活と食糧・農業研究会報告書『食料・農業と生活協同組合』、生協総合研究
所、1996年7月)、「青果物卸売市場の現状と課題」(共著：日本農業市場学会編『農業
市場の国際的展開』、1997年3月)、「現代卸売市場論」(代表編集：筑波書房、1999年3
月)、「卸売市場における情報システム化と市場再編成」(共著：三国秀実編著『再編下
の食料市場問題』、pp.53-71、筑波書房、2000年3月)、「青果物卸売市場再編の現段
階」(農産物市場研究会『農産物市場研究』第34号、1993年4月)、「青果物流通構造の
現段階」(東北農業経済学会『東北農業経済研究』第12巻第1号、1993年1月)、「花き
卸売市場再編の現段階」(日本流通学会『流通』No.7、1994年版)、「青果物の価格形成
構造」(農業・農協問題研究所『農業・農協問題研究』第15号、1995年5月)、「卸売市
場における業者協同組合の課題」(日本協同組合学会『協同組合研究』第15巻第1号、1
995年9月)、「首都圏における青果物流通の再編構造」(日本農業市場学会『農業市場研
究』第5巻第1号、1995年9月)、「転機に立つ卸売市場制度」(日本農業市場学会『農
業市場研究』第6巻第2号、1998年3月)、「市場流通と市場外流通の将来を考える」
(流通システム研究センター『フレッシュフードシステム』、pp.12-16、2000春号、Vol.
29、No.3、通巻383)

●藤田 武弘(ふじた たけひろ)

大阪府立大学 農学生命科学研究科 講師

1962年生まれ。大阪府立大学大学院農学研究科・博士後期課程単位取得退学。大阪府立
大学農学部助手を経て現職。

<主な著書・論文>

「地場流通と卸売市場」(農林統計協会、2000年)、「現代卸売市場論」(分担執筆：日本
農業市場学会編、筑波書房、1999年)、「流通再編と卸売市場」(分担執筆：小野雅之・
小林宏至、筑波書房、1997年)、「大都市・大阪における青果物流通の展開と課題」(『農

業市場研究』Vol.44、 pp.13-22、1997年)、「流通再編下における青果物地方卸売市場の実態と課題」(『農業市場研究』Vol.43、 pp.64-74、1996年)

●尾碕 亨(おざき とおる)

酪農学園大学 酪農学部 食品流通学科 助教授

1959年生まれ。日本大学大学院博士後期課程修了(農学博士)。酪農学園大学食品流通学科講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「日本の農業 あすへの歩み 213 輸入野菜急増下における野菜流通環境の変化と産地の対応」(財農政調査委員会、2000年3月)

●小林 茂典(こばやし しげのり)

農林水産省農業総合研究所 経済政策部 流通・消費研究室 主任研究官

1959年生まれ。東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程単位取得退学。(社)食品需給研究センターを経て現職。

<主な著書・論文>

「現代卸売市場論」(共著:筑波書房、1993年3月)、「輸入野菜流通と卸売市場」(『日本の農業』No.210、農政調査委員会、1999年3月)

●黄 孝春(こう こうしゅん)

弘前大学 人文学部 助教授

1962年生まれ。京都大学経済学部研究科後期博士課程修了。弘前大学人文学部講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「専門商社から総合商社へー丸紅の事例研究」(臨川書店、1992年)、「戦前期日本における綿花輸入機構の変容とその論理」(『人文社会科学論叢』(社会科学篇)創刊号、1999年3月)

●榊原 茂樹(さかきばら しげき)

神戸大学大学院 経営学研究科 教授

1945年生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了。神戸大学経営学部助手、教授を経て現職。経営学博士。

<主な著書・論文>

「現代財務理論」(千倉書房、昭和61年7月)、「株式ポートフォリオのリスク管理」(東洋経済新報社、平成4年2月)、「証券投資論」(共著:日本経済新聞社、第3版、平成10年4月)、「財務管理」(共編著:有斐閣、平成5年6月)、「The Japanese Stock

Market", *Praeger Publishers*, New York, 1988.